

特定健康診査・特定保健指導や医療費に関する 分析とその可視化～自治体への支援のために～

キーワード：地域、健康データ、分析、可視化、支援

領域・氏名

専門基礎分野（看護人間学Ⅲ） 教授／ 中尾裕之

概要

地域で収集された健康データを客観的・科学的に分析し、様々な事業に活用できるよう、分析手法や可視化の方法の改良などに取り組んでいます。また、データ解析や量的研究デザインに関して、看護研究へのサポートを行っています。

具体的な内容

医療や保健施策の分野においては、健康日本21、健康増進計画、医療費適正化計画などにおいて、実態の把握と課題の明確化、数値目標の設定を含む計画の策定、数値目標の評価と計画の見直しというPDCAサイクルを展開して保健事業を実施することが求められています。昨今、健診・保健指導・医療費・介護等のデータが利用可能なデータベースが整備されてきていますが、実際の分析や事業への利活用まではハードルが高く、大学等の研究機関による支援が求められています。

そこで我々は、地域で収集された健康データを客観的・科学的に分析し、様々な事業に活用できるよう、分析手法や可視化の方法の改良などに取り組んでいます。

この他に、高齢者のセクシュアリティに関する研究、飲酒量と総死亡の関係についてのメタ・アナリシスなどの研究を行っています。また、データ解析や量的研究デザインに関して、看護研究へのサポートを行っています。

Information（情報）

データの集計方法、データの可視化の方法、基本的な統計手法、量的研究方法などに関する出前講義が可能です。